

Oita Yufumi

VOL.15

Hospital

発行 / 2018年4月

大分ゆふみ

病院からより

 大分ゆふみ病院



院長ごあいさつ

「ホスピスでできること」



院長 一万田 正彦
いちまた まさひこ

大分ゆふみ病院では、がんの治療が難しくなり、一般の医療機関や在宅支援診療所において、標準的な緩和治療・ケアを行っているにもかかわらず、苦痛症状や辛さが残り、症状の改善が難しい状況となって入院される方が多くいらっしゃいます。しかし、ホスピスでは何もしてくれない、といった考えをいまだに耳にする事があります。ホスピスでは本当に何もしてくれないのでしょうか？進行したがんの方は、少なからず、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛を抱えています。それを和らげるために、私たちスタッフは精一杯のケアを行っています。ここで具体的にホスピスでできることをお伝えいたします。

1)あなたらしさをチーム一丸となって支援します

ホスピスでは、患者さんとご家族を中心として医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士などの専門職とボランティアでチームが構成されています。多職種カンファレンスや総回診では、一人一人の患者さんにどのように対応する事が望ましいか話し合われます。

2)からだの痛みを和らげます

鎮痛剤の使用は副作用対策を万全に行った上で、その人に応じた細やかな処方をしています。また鎮痛剤だけでなく、ケアの中で痛みを緩和する事もできます。痛みが和らぐ事で、その人らしさを取り戻せる事ができます。『痛みを和らげてくれる病院に行きましょう』と紹介されることもあります。

3)こころの不安を和らげます

患者さんの悲しみの重荷を代わって背負う事は出来ませんが、病気の不安、家族のこと、仕事のこと、経済的なことを傾聴する事はできます。耳を傾け、少しでも不安が和らぐ方法を患者さんと共に考えていきます。

4)日常生活を少しでも快適に…ボランティアもお手伝いします。

当院では50名近くのボランティアスタッフが、患者さんとご家族が大切にしている日常生活をサポートし、社会の風をホスピスに送り込むための活動をしています。ボランティアの活動は以下の通りです。
□環境活動：館内植物や屋外の草花の手入れ、一坪農園の管理 □縫物、折り紙：医療器材のカバー作り、パッチワーク、折り紙喫茶活動；喫茶の運営、話し相手(傾聴)、ピアノ演奏、ハンドマッサージ □院内行事での関わりや準備

5)ご家族の不安にも耳を傾けます

ホスピスでは患者さんだけでなく、ご家族もケアを受ける対象となります。スタッフは、ご家族の悲しみ、不安、怖れにも耳を傾け、共感する役割があります。ご家族が患者さんの病状をどのように受け止めているのかを常に考慮しながら関わっています。

6)あなたの最期が穏やかであるように

患者さんとお別れが近くなった際に、苦痛少なく過ごしているのか、そばで見守っているご家族の体調や心情は大丈夫なのかを気にかけながら、大事な時間を共に過ごせるように配慮しています。

7)ご遺族の方がまた元気を取り戻せるように

当院で亡くなられてから約1年の方のご遺族を対象に、遺族会を年2回行っています。また担当看護師は、ご遺族に年数回お便りを送り、継続した関わりを行っています。

大分ゆふみ病院は、がん患者とご家族の支えとなるべく日々精進を重ねております。そして患者さん・ご家族にとって「ここに来て良かった」と言っていただけるような病院を目指しています。大分ゆふみ病院が、がんで苦しむ、患者さん・ご家族の支えの一助となれば幸いです。

ご親族より

「叔母が教えてくれたこと」

柳野 祥子 《岩崎ハヤコ様ご家族》

2016年7月、大分ゆふみ病院を初めて訪ねました。木々に囲まれた静かな病院でとても心地よかったことを覚えています。大分ゆふみ病院で過ごした時間は叔母と私たち家族にとって穏やかで温かな日々の毎日を過ごさせていただきました。この夏はとても暑かったのですが、お部屋の中では気持ちよく生活させていただき、職員の皆様方のお心遣いに感謝しております。ありがとうございます。

叔母から頂いた大切なものは「生きていくこと」死を持って生きて行くことの大切さを教えてくださいました。「生き様は死に様」と言いますが、亡くなることと生きることは同等と考える死生観、叔母は命をかけて私にその姿を見せてくださいました。

生まれてくると必ず体はなくなる時が来ますが、叔母はいつも傍らにいてくれるように感じています。ありがとう、叔母ちゃん。

お風呂に入る時、看護師さんに「私も一緒に入れさせてください」とお願いすると、快く一緒に入らせていただき、叔母の体を洗わせていただきました。

「私は唐揚げみたい」と介護風呂に入って看護師さんたちを笑わせた、短い言葉の中に叔母なりの気遣いを感じました。叔母をお風呂に入れてくださった職員の皆様、ありがとうございます。きっと叔母も皆様にお礼を申しております。

一万田院長先生のオカリナ演奏は、音色が心地よく心が温くなる時間でした。「オカリナを吹きたい」と叔母も購入したことを覚えております。

先生のオカリナ演奏からは温かなお心が伝わり、生きる希望をいただきました。大切なものは目に見えませんが、叔母も私も温かなお心を十分に感じておりました。ありがとうございました。ボランティアの皆様方も、いつも私共をお優しく迎えていただき、ピアノ演奏、折り紙、ハンドケア等々参加させていただく為に、歩行車を押して自分の力でホールに出て来る叔母。精神的な強さはきっと支えてくださる、職員の皆様、ボランティアの皆様のおかげだと思っております。感謝しております。ありがとうございました。

呑み込みが悪くなくても口から食べれるものをと、叔母、私たちの希望を考えて叶えていただきました。「尊厳」とは自由に選ぶことができること、自由に選ぶことこそ、出来るようでなかなか出来ないことです。私共の思いを叶えていただいたことで、生きる希望につながりました。大分ゆふみ病院の皆様、叔母、私たちに生きる希望を持たせていただきありがとうございます。どうぞこれからも患者様、ご家族様の為にご活躍ください。



四季折々

当院では、各月ごとにさまざまなイベントを行い、患者さんやご家族と共に季節を感じながら楽しい時間を過ごしています。



春の庭

春、中庭にはたくさんの花が咲いて美しく庭を彩ります。患者さんの心にもたくさんの花が咲きますように…。

青い空と桃色の桜の下で、一緒にお花見しましょうよ♪



ボランティアのアロママッサージは、良い香りと優しいタッチに癒されます。

SPRING 一春一



ゆふみは緑も花も沢山。春の陽気に誘われてお散歩しました♪



AUTUMN 一秋一

中庭の紅葉

中庭の木々の葉を秋の風が揺らし始めて、少しずつ鮮やかに色づいてきます。季節を味わう豊かな時間を過ごしていただきます。

「散歩道できれいな紅葉を見つけたよ」



「わあ〜、きれいね〜」庭一面に竹灯籠。ゆらゆら揺れる竹灯籠が幻想的でした。



お月見会。可愛いうさぎさん達を発見!!



「干し柿作り、先生に教えてあげるよ。」作った干し柿を部屋の前のウッドデッキに干しました。

SUMMER 一夏一

中庭に緑が溢れる夏、緑のトンネルをくぐり抜ける散歩の時間を楽しんだり、花を摘んだり、穏やかな時間を過ごします。

頭に鉢巻き、ひょっとこ踊り♪
「お祭り男たわっしょい!!!」



「ここは病院じゃないみたいね」入院していることを忘れて花に夢中になりました。



「短冊に何書こうかなあ〜」童心にかえってワクワクします♪



納涼祭では、スタッフ皆で盛り上げます!



中庭の様子

クリスマス会。トーンチャイムの演奏♪



患者さんの手作り人形。ラウンジに飾らせて頂きました。



澄んだ空気が染み渡る冬、ロビーの暖炉に火が入り、コンサートや餅つきなど暖かい時間を過ごします。

WINTER 一冬一



べったんべったん「美味しいお餅にな〜れ!」



ハーブを奏でるサンタさん♪

私たち「大分ゆふみ病院」は、ボランティアスタッフの協力を得ながら、さまざまな活動を通して、ホスピスケアに取り組んでいます。

ボランティア

大分ゆふみ病院では、医師や看護師など医療スタッフの他に、多くのボランティアがホスピススタッフの一員として活動しています。現在50名のボランティアが月曜日から土曜日まで、それぞれの個性や特技を活かしながら、様々な活動を行っています。主な活動は、ラウンジでの喫茶やハンドマッサージの提供、ピアノやリーコードの演奏、また園芸、折り紙、パッチワークキルトは患者さんやご家族と一緒にいう事で、潤いを生み出す安らぎの時間となります。ボランティアスタッフは患者さんやご家族に寄り添いながら、大切な日々を心穏やかに過ごして頂けるように努めています。



リレー・フォー・ライフ

リレー・フォー・ライフ(RFL)の発祥は、1985年、米国ワシントン州で、ある1人の外科医が、がん患者を励まし、アメリカ対がん運動組織の活動資金を集めることを目的に始めました。その外科医はがん撲滅を訴えながら24時間フィールドを走り続け、多くの寄付が集まり、彼の行動に賛同した人々によって、全米5,500ヶ所、世界20ヶ国以上で開催されるようになりました。大分県では平成20年から開催され、大分スポーツ公園大芝生広場でがん患者さんやご家族、医療関係者や企業、団体、個人など、多くの支援者が参加する全国有数の規模の大会となっています。大分ゆふみ病院は第1回大会から毎年参加しており、病院職員とボランティアスタッフで24時間、タスキをつないでいます。今年も9月8日、9日に開催されます。



ホスピスセミナー

大分ゆふみ病院は、ホスピスのことを理解して頂くための啓蒙活動のひとつとして、ホスピスセミナー市民公開講座を年2回開催しています。毎回、多くの市民の方や医療関係者が参加し、ホスピスの現状とその内容について病院長をはじめとする当院の職員が講演を行っています。また、大分ゆふみ病院の公式ホームページでは、病院の様子を撮影した動画が視聴できます。



■ 研修・施設見学受入れ状況 (2017.4.1~2018.3.31)

研修

- 卒後臨床研修医 9名 (大分大学医学部 附属病院、大分県立病院)
- 看護師研修 7名 (大分大学大学院、アルメイダ訪問看護ステーション他)
- 看護学生研修 60名 (大分大学医学部 看護学科)
- 薬学生研修 12名 (九州保健福祉大学、福岡大学、崇城大学)

施設見学 41名

看護師 19名、薬剤師 1名、医療ソーシャルワーカー 4名、民生委員 11名、学生 6名

大分大学医学部附属病院、大分県立病院、大分三愛メディカルセンター、大分岡病院、明野中央病院、湯布院病院、天心堂へつぎ病院、厚生連鶴見病院 ほか

※入院患者さん、ご家族には、ご迷惑をお掛けしないよう細心の注意を払っていますのでご協力をお願い致します。

■ ホスピス診療記録 (2017.4.1~2018.3.31)

■ 入院患者数

162名 (男性 75名、女性 87名)

■ 平均年齢

73歳

■ 住所分布

大分市 114名、大分市外 48名

(大分市外: 由布市 17名、別府市 10名、竹田市 5名、豊後大野市 3名、ほか県内市町 11名、県外 2名)

■ 紹介元病院

大分大学医学部 附属病院、大分県立病院、大分赤十字病院、大分医療センター、別府医療センター、九州大学病院別府病院、豊後大野市民病院、やまおか在宅クリニック、うえお乳腺外科、大分三愛メディカルセンター、織部病院、井野辺病院、大分岡病院、大分共立病院、大分記念病院、臼杵市医師会立コスモス病院、厚生連鶴見病院、佐藤第一病院、みえ病院、野口病院、仁医会病院、九州がんセンター ほか

入院までの流れ

① 入院相談

電話で入院の相談を行った後、まず患者さんの容態など現状を伺います。また、入院相談外来や見学を希望の方は、来院日時のお約束をします。

② 入院相談外来 (医師による診察面談)

入院希望の方は、患者さんご本人またはご家族に対し、医師による診察と面談が行われます。また施設の見学もできます。※紹介状とX線フィルムなどを持参していただけます。

③ 入院判定会議

医師、看護師長、医療ソーシャルワーカー (相談員) によって行われます。

④ 会議の入院決定の連絡

患者さんまたはご家族に入院の適否、日程について連絡をします。

⑤ 入院

相談員、または医師が患者さん、ご家族、紹介元病院と連絡を取り、入院の調整を行ないます。

病院理念

大分ゆふみ病院は
『今を生きる』患者と家族を支えます。

1. 患者と家族の権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
2. 心身の不快な症状の緩和につとめ、最善のケアの提供を目指します。
3. 家族の不安や悲しみが和らぐように支えます。
4. さまざまな職種とボランティアがチームを組み、ケアにあたります。
5. 大分県の緩和ケアの発展に寄与します。

ご案内

入院をお考えであったり見学をご希望される方は、
必ず電話予約をお願いいたします。

※予約をされていないと相談が重なり、対応できない場合やお待ちいただく場合がございます。

■入院の対象となる方

- 医師が治癒が期待できないと判断した悪性腫瘍の患者を対象とします。
- 患者と家族が入院を希望していることが原則です。
- 入院予約時に「病名・病状」について理解していることが原則です。
- 社会的、経済的、宗教的な理由によりお断りすることはありません。

■がん疼痛緩和外来 [要予約]

がんによる痛みやしびれなどでお困りの方、また、痛みにより眠れない方など、どなたでも直接外来受診や電話相談に応じます。専門の緩和治療医が対応いたします。お気軽にご連絡ください。※要予約

■在宅を希望する方

ご自宅で生活を希望する方は、必要に応じて、訪問診療医、訪問看護、ヘルパーと連携いたします。

■講演依頼を承ります

緩和ケア・ホスピスについてわかりやすい内容で、講演活動を行っています。お気軽にご相談ください。

■ホスピスセミナーを開催しています

ホスピスケアをより多くの方に知っていただくために、ホスピスセミナーを春・秋の年2回、開催しています。詳細につきましては、ホームページをご覧ください。(http://oitayufumi.com)



まず、相談窓口へお電話ください。

☎097-548-7272

電話受付時間 / 月～金曜日 AM9:30～PM4:30 (祝日は除く)

交通のご案内

- バスをご利用の場合
大分駅より大分交通<机張原>行き、
上金谷迫停留所下車。
- 車をご利用の場合
大分駅より車で15分、大分インターより車で5分